

平成28年4月5日
JR北海道釧路支社

「春の踏切事故防止キャンペーン」を実施します！

JR北海道では、平成28年春の全国交通安全運動の実施にあわせ、踏切事故の防止を図るため4月6日から「春の踏切事故防止キャンペーン」を実施します。

キャンペーン期間中は、全道各地の駅や踏切で、「踏切手前での確実な一旦停止と安全確認」や「万が一、踏切内に閉じこめられたら、そのまま車を進めて、まず脱出」、「車が動かなくなった時には発炎筒や非常ボタン等で列車を止める」などの呼びかけを行います。

また、これからの時期は、子供達の外遊びの機会が多くなることから、線路内立ち入りや置き石等の禁止の呼びかけを学校や幼稚園、地域の方々と協力して行います。



踏切事故防止キャンペーン啓発活動の様子

1 実施期間

平成28年4月6日（水）から4月15日（金）までの10日間

2 実施内容

◎踏切における安全通行の呼びかけ

- ・ 踏切等でのリーフレット、ポケットティッシュ配布
- ・ 主要駅及び列車内での業務用放送での呼びかけ
- ・ 特急列車の客室内情報表示装置での呼びかけ
- ・ 小中学校・幼稚園等を訪問しポスター・リーフレット等の配布による呼びかけ
- ・ 関係機関、団体、自動車学校、企業等を訪問して呼びかけ
- ・ ラジオCMの放送

3 実施計画

（別紙）釧路支社管内における事故防止PR活動

<平成27年度の踏切事故>

踏切事故の発生件数は9件で、平成26年度より1件減少となりました。9件の踏切事故のうち12月と1月には、踏切内で乗用車が列車と衝撃して2名の方が尊い命を落とされています。

このほかにも列車の運転手が踏切内に立ち往生している車を発見したり、非常ボタンを扱われたことを認め、列車が急停止するなどした件数が291件発生しました。依然として悲惨な事故に繋がりがねない踏切の無理な通行が多数発生しております。また、警報機が鳴っている踏切を無理に通行したことが原因と考えられる遮断ボールの折損も多数発生しています。

釧路支社管内における事故防止PR活動

各地区において踏切事故防止の啓発活動を行います。啓発に際しては、ノボリを掲出し、各地区のJR社員が踏切事故防止キャンペーン用ポケットティッシュやリーフレットを配布し、JRご利用の皆様や踏切通行者の皆様に広く踏切事故防止のお願いを呼びかけていきます。

帯 広 地 区	A号団地踏切（西帯広駅構内） 4月 6日(水) 11:00～11:30
釧 路 地 区	木工場踏切（釧路駅構内） 4月11日(月) 10:45～11:15

※ なお、当日の天候等により、一部予定を変更する場合があります。